

2019年度

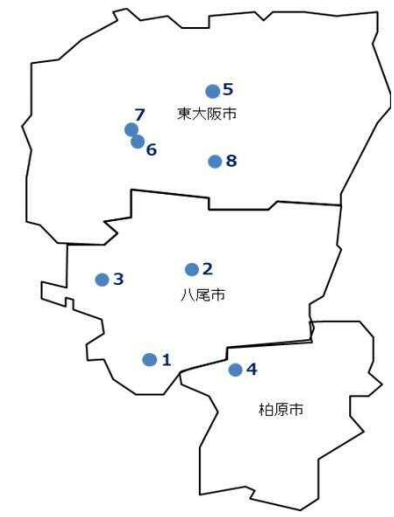
**中河内二次医療圏
「地域医療構想」の進捗状況**

1 中河内二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要①

中河内二次医療圏では、新公立病院改革プラン補足調査対象病院が3病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が1病院である

● 主な医療施設の状況

所在地	病院名	新公立病院改革プラン補足調査対象	公的医療機関等2025プラン対象病院	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援病院	がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	特定診療災害医療センター	周産期母子医療センター	感染症指定医療機関	結核病床を有する病院	エイズ治療拠点病院
八尾市	社会医療法人医真会医真会八尾総合病院					○											
	医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院								○	○							
	八尾市立病院	○			○	○				□				○			
柏原市	市立柏原病院	○				○				○							
東大阪市	医療法人藤井会石切生喜病院									○							
	大阪府立中河内救命救急センター						○				○	○					
	市立東大阪医療センター	○			○	○				□		○		○			○
	社会医療法人若弘会若草第一病院		○		○	○			○	○							
合計		3	1	0	3	2	4	0	2	6	1	2	0	2	0	0	1



2019年7月末時点
【対象病院数31の内訳】
公立病院：3
公的病院：1
民間等病院：27

※ 「がん診療拠点病院」の□印は「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」、○印は「大阪府がん診療拠点病院(府指定)」を示す。
※ 「周産期母子医療センター」の○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

1 中河内二次医療圏の概要 (1) 医療体制の概要②(公民別病床機能)

公立・公的病院の病床は97%が高度急性期と急性期であり
民間等病院は急性期が52%、回復期16%、慢性期26%である

● 公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出31病院(公立3、公的②1、民間等27))



参照 2019年度病院プラン調査等 (速報値)

1 中河内二次医療圏の概要(1) 医療体制の概要②(公民別病床機能)

全病床数5,485床の内訳は、約61%が東大阪市保健所管内、約34%が八尾市保健所管内、約5%が藤井寺保健所管内

●【参考】保健所別病床機能別割合

東大阪市保健所所管内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	214	308	25	0	547
公的①	0	0	0	0	0
公的②	8	222	0	0	230
民間等	21	1,305	440	833	2,599
合計	243	1,835	465	833	3,376

東大阪市保健所所管内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	39.1%	56.3%	4.6%	0.0%	100.0%
公的①					
公的②	3.5%	96.5%	0.0%	0.0%	100.0%
民間等	0.8%	50.2%	16.9%	32.1%	100.0%
合計	7.2%	54.4%	13.8%	24.7%	100.0%

八尾市保健所所管内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	160	220	0	0	380
公的①	0	0	0	0	0
公的②	0	0	0	0	0
民間等	212	783	219	235	1,449
合計	372	1,003	219	235	1,829

八尾市保健所所管内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	100.0%
公的①					
公的②					
民間等	14.6%	54.0%	15.1%	16.2%	100.0%
合計	20.3%	54.8%	12.0%	12.8%	100.0%

藤井寺保健所所管内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	4	199	17	0	220
公的①	0	0	0	0	0
公的②	0	0	0	0	0
民間等	0	60	0	0	60
合計	4	259	17	0	280

藤井寺保健所所管内の病院の「現在」の病床機能総計(病床数)【割合】

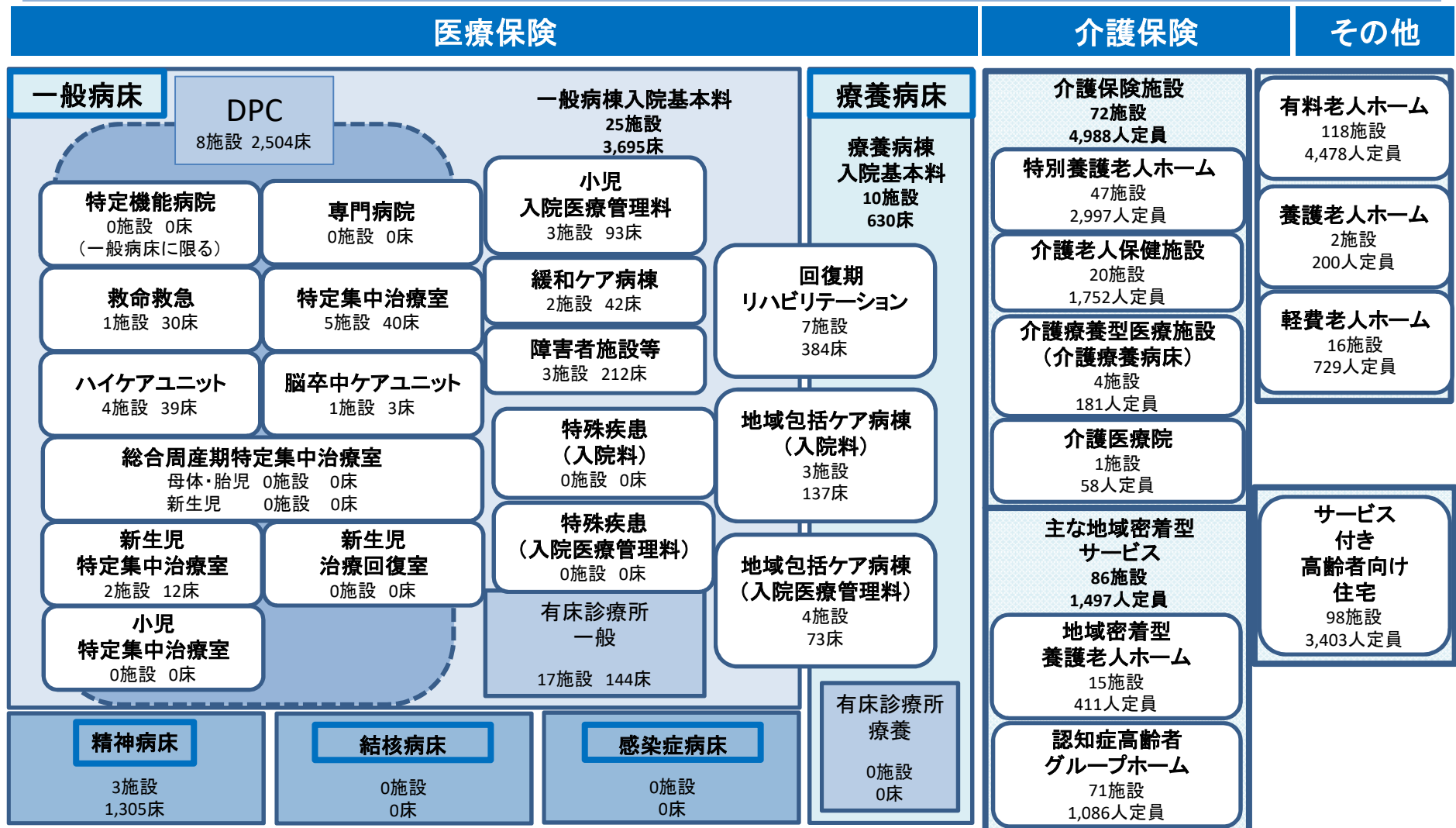
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	1.8%	90.5%	7.7%	0.0%	100.0%
公的①					
公的②					
民間等	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	1.4%	92.5%	6.1%	0.0%	100.0%

※「現在」は2018年7月1日時点

参照 2019年度病院プラン調査等(速報値)

1 中河内二次医療圏の概要 (1) 医療体制の概要③(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されている



参照 「医療保険」 病床機能報告 (2018年7月1日時点の医療機能: 2019年2月集計) ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床 (大阪府健康医療部資料 (2019年3月31日現在)) 「介護保険・その他」 大阪府福祉部資料 (認知症高齢者グループホームは2018年1月1日現在、その他施設は2019年4月1日現在)

1 中河内二次医療圏の概要 (2) 地域医療構想の進捗状況

病床数の必要量における回復期機能を担う病床数の確保には、中河内二次医療圏で約11%程度同機能への転換が必要と推計

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

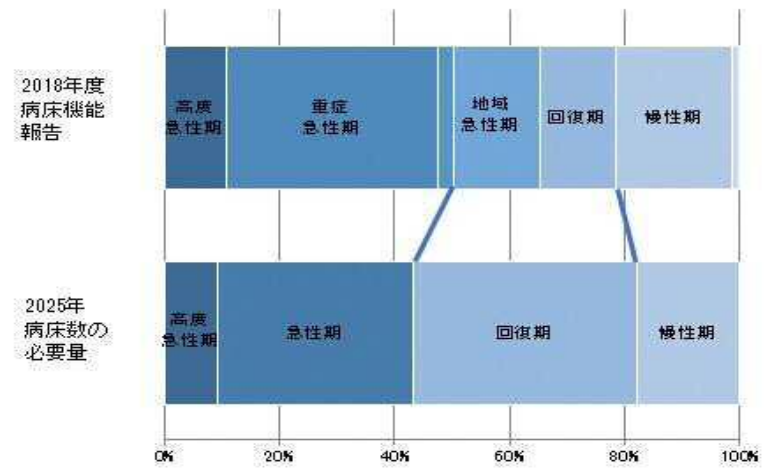
(単位：床)

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期					
病床数の必要量	2013	562	1,857			1,971	1,155			5,545
病床機能報告	2014	163	3,527			427	1,375	0	487	5,979
病床機能報告	2015	490	3,387			508	1,257	32	224	5,898
病床機能報告	2016	460	3,453			624	1,051	14	276	5,878
病床機能報告	2017	682	3,401	2,245	17	1,139	657	14	2	5,880
病床機能報告【暫定】	2018	622	3,146	2,124	155	867	770	74	2	5,786
病床機能報告【最終】	2018	622	3,146	2,124	155	867	770	74	2	5,786
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	543	2,004			2,281	1,054			5,882
病床数の必要量【オリジナル】※	2025	657	2,424			2,759	1,275			7,115

※地域医療構想策定ガイドラインに基づく数値

● 病床機能報告 (2018年度) と病床数の必要量 (2025年) の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期				
病床機能報告	2017	11.6%	38.2%	0.3%	19.4%	11.2%	19.1%	0.2%	—
病床機能報告【最終】	2018	10.8%	36.7%	2.7%	15.0%	13.3%	20.3%	1.3%	—
病床数の必要量	2025	9.2%	34.1%			38.8%	17.9%		



サブアキュート・ポスト アキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測

① 病床機能報告 (地域急性期 + 回復期)

2017年度	30.6%
2018年度(最終)	28.3%

② 病床数の必要量 (回復期)

38.8%

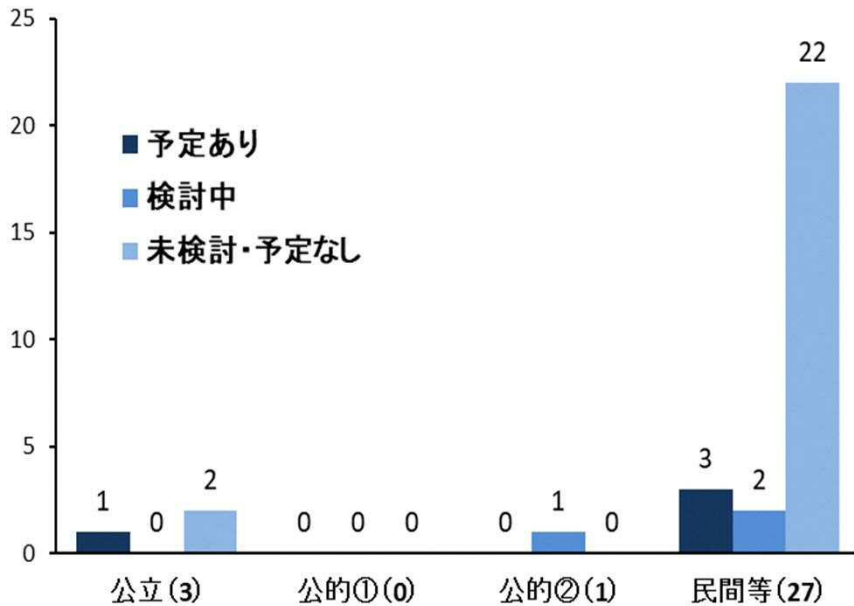
割合の差
10.5%
(約600床)

参照 病床機能報告 (速報値)

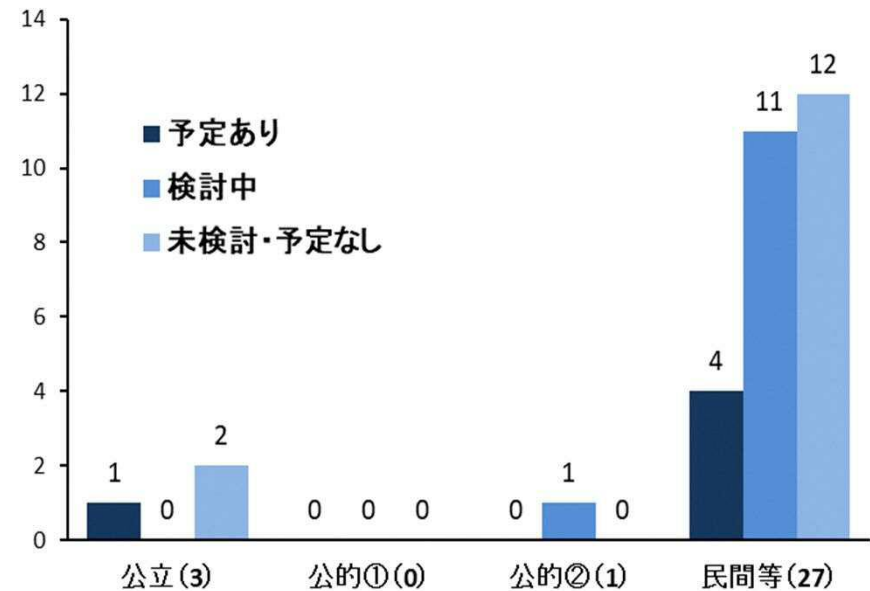
2 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

2025年に向けた建物・設備の整備・改修について
55%の病院が「予定がある」もしくは「検討中」となっている

● 2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無

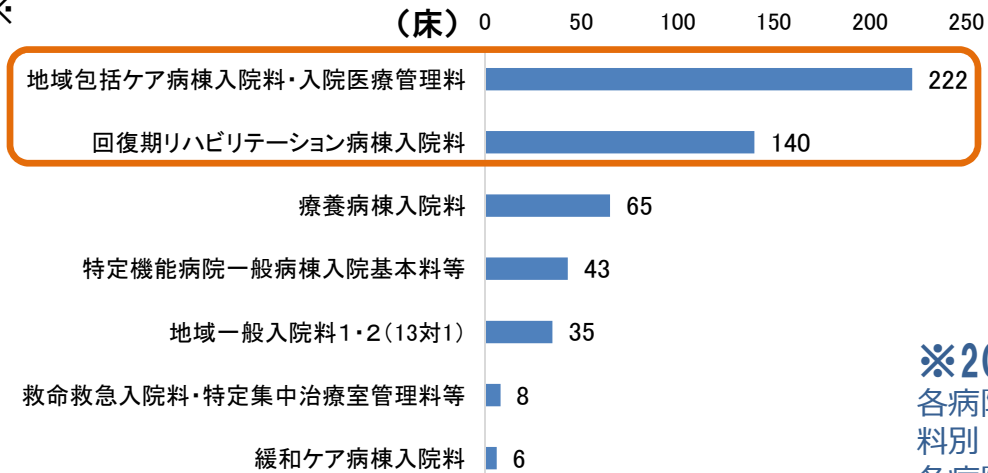


参照 2019年度病院プラン調査等（速報値）

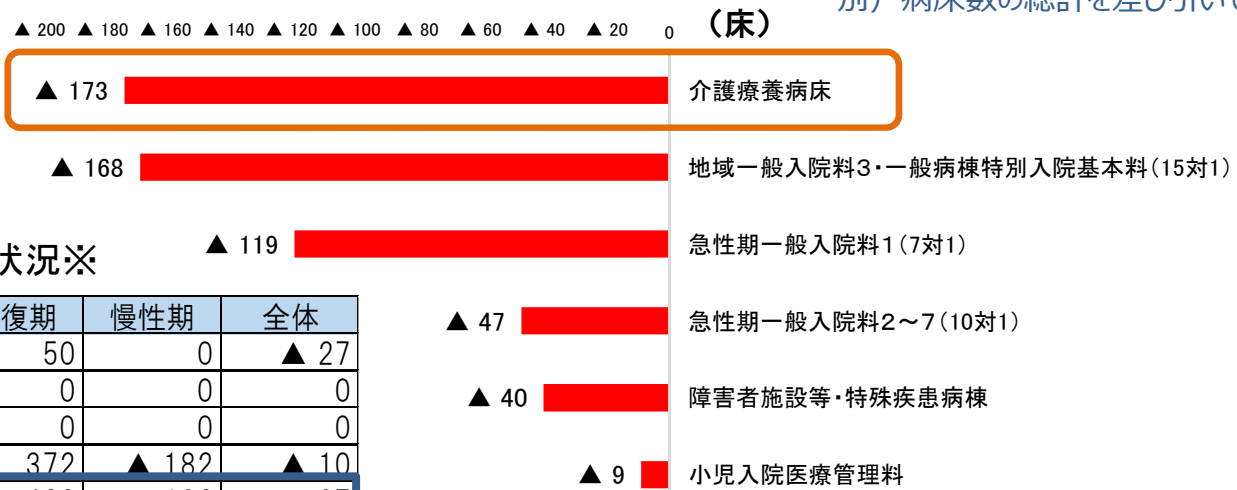
2 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

各病院が検討している病床機能等の変更は、「地域包括ケア病棟」や「回復期リハビリテーション病棟」の増床の方向となっている

●入院料別の検討状況※



※2025年に向けた検討状況
各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出)



●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	8	▲ 85	50	0	▲ 27
公的①	0	0	0	0	0
公的②	2	▲ 2	0	0	0
民間等	191	▲ 391	372	▲ 182	▲ 10
合計	201	▲ 478	422	▲ 182	▲ 37

参照 2019年度病院プラン調査等 (速報値) 8

2 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

東大阪市保健所管内では高度急性期と回復期の増床を検討 八尾市保健所管内と藤井寺保健所管内では回復期の増床を検討

●【参考】保健所管内別病床機能の検討状況※

東大阪市保健所管内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	8	▲ 35	0	0	▲ 27
公的①	0	0	0	0	0
公的②	2	▲ 2	0	0	0
民間等	191	▲ 318	191	▲ 129	▲ 65
合計	201	▲ 355	191	▲ 129	▲ 92

藤井寺保健所管内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	0	▲ 50	50	0	0
公的①	0	0	0	0	0
公的②	0	0	0	0	0
民間等	0	0	0	0	0
合計	0	▲ 50	50	0	0

八尾市保健所管内の病院の病床機能検討状況

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	0	0	0	0	0
公的①	0	0	0	0	0
公的②	0	0	0	0	0
民間等	0	▲ 73	181	▲ 53	55
合計	0	▲ 73	181	▲ 53	55

○八尾市保健所管内では、5床の減床と休床中の60床が回復期での稼働を検討しているため55床増床となっている。

※2025年に向けた検討状況

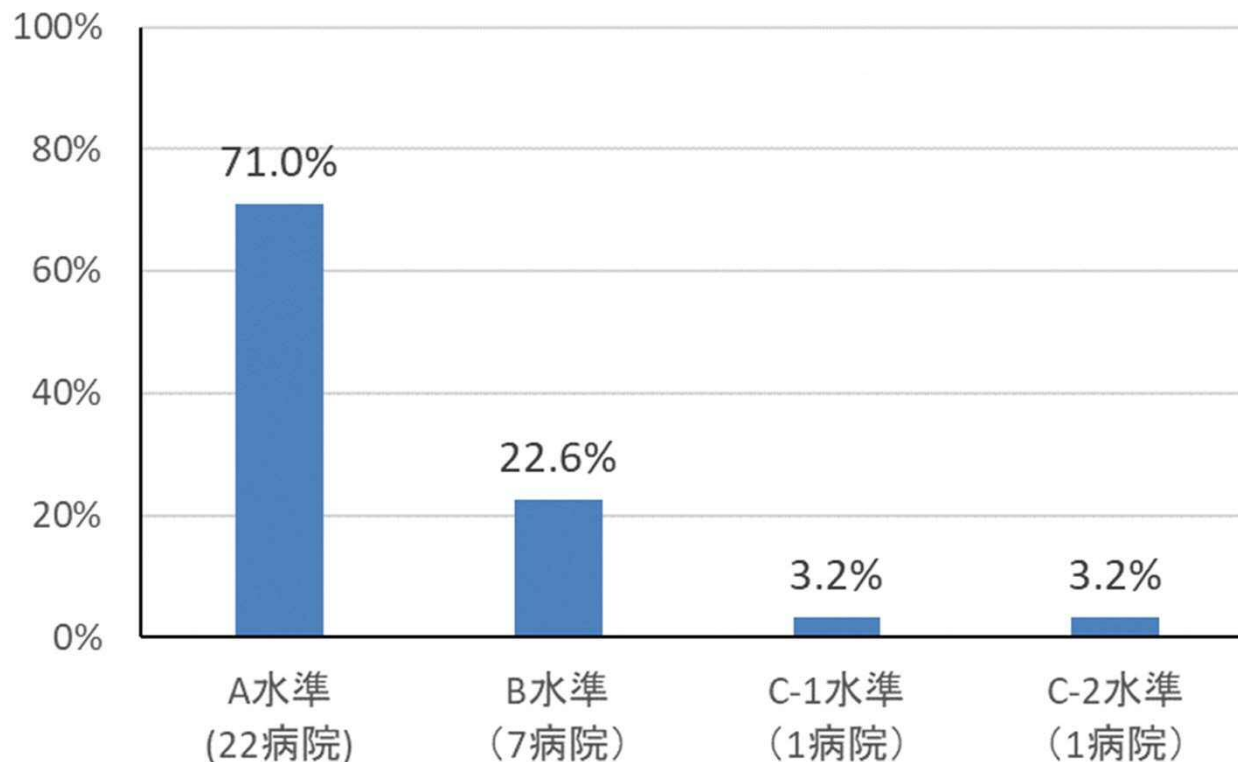
各病院の2025年に検討している 入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

参照 2019年度病院プラン調査等（速報値）

3 2024年(医師の時間外労働規制開始年)に向けた対応の検討状況

多くの病院がA水準での対応を検討しているが、一部、B水準、C水準の対応を検討している病院がある

●時間外労働規制に対する対応検討状況(31病院に対する調査(複数回答可))



参照 今後の医師の確保の見通し調査(第2回病院連絡会)